

## 「全国在宅歯科医療・口腔ケア連絡会」設立趣意書

高齢化が急速に進むわが国においては、在宅医療・在宅ケアの充実が久しくさげばれていきます。しかし、地域に密着した病院からは、誤嚥性肺炎で入退院を繰り返す高齢リピーター患者がいつこうに減少しないという切実な声も届きます。安心・安全な在宅療養を送るためには、栄養管理や摂食・嚥下リハビリテーションが重要な課題になってきました。さらには楽しい食事とそれに付随する豊かなコミュニケーションの醸成までもが求められる時代になっています。

歯科医療はこれまでの単なる治療の提供だけではなく、生活支援やQOLの向上という視点からその方向性や社会性が問われています。高齢化社会における歯科医療は、利用者だけでなくそこに関わる保健・医療・福祉などの専門職種からの期待に応えることが必要です。そして、在宅医療にかかわる方々からは、口腔ケアの普及、推進や食の支援に対する強い期待が寄せられています。今、私達に求められている在宅歯科医療とは、まさに「在宅における口腔ケア、摂食・嚥下リハビリテーション」そのものなのです。

在宅歯科医療・口腔ケアを確実に推進していくためには、実施主体の組織化と知識、技術の共有化が不可欠です。しかし、地域や職場など立場の違いにより問題意識や臨床内容が異なるため、本来標準化されるべき歯科医療に関する予防、治療、管理、リハビリテーションなどは各自が試行錯誤しながら診療や教育の現場で対応しているのが現状です。いまこそ、在宅歯科医療に関わるあらゆる職種が集い、情報を自由に共有することで、問題解決に取り組むことができる、コミュニティとしてのオープンプラットフォームが必要です。そこで、在宅歯科医療の主たる担い手である歯科診療所、後方支援としての役割を持つ病院歯科（歯科口腔外科）および教育機関の有志を中心に、「全国在宅歯科医療・口腔ケア連絡会」を設立いたしました。

超高齢化社会の到来に備えて医療は大きな変革を余儀なくされ、「在宅医療」はますますその価値をたかめていくものと思われれます。本連絡会は、「(ニードに) 応える・つなぐ・育てる」ことを念頭におき、メーリングリストの活用および定期的な総会・地方会の開催などによって「求められる在宅歯科医療」を普及、推進させるべく”網の目”的な組織をめざしていきます。そして、全国各地で活動している仲間を強力に支援をしながら大きなうねりにしていきたいと考えています。

## 設立準備会発起人一同（107名）

- **北海道**・小松崎悟郎、梅安秀樹、**岩手県**・佐藤保、森川伸彦、**群馬県**・山脇万典、加藤孝一、齋藤晃一、**栃木県**・岩渕博史、**茨城県**・埴章一、**東京都**・原龍馬、五島朋幸、栗屋剛、永長周一郎、齋藤真由、中久木康一、小玉剛、菊谷武、細野純、寺岡加代、尾崎研一郎、福田徳治、吉田美昭、**神奈川県**・朝廣賢哲、品川隆、向山仁、岩崎克夫、吉田直人、石川茂樹、櫻井仁亨、**千葉県**・大石善也、菊地秀夫、上條穂、金剛寺高宏、栗原正彦、飯塚真司、日暮寛之、高野正博、石井拓男、溝口万里子、花澤浩之、甘利貞文、横山幸夫、八木浩一、福島安正、岸本美幸、松岡政之、**埼玉県**・中山京英、宮下直也、福島洋介、阪口英夫、金子貞男、中里義博、深井穫博、山崎耕一郎、**山梨県**・花形哲夫、小沢章、中村弘之、**長野県**・村上順彦、**新潟県**・江面晃、**石川県**・宮田勝、**富山県**・仲井雄一、**愛知県**・青柳公夫、松井和博、鈴木俊夫、角保徳、**静岡県**・大田洋二郎、望月亮、内藤克美、米山武義、桑原孝史、**滋賀県**・小金澤一美、**大阪府**・森岡敦、小島哲也、野原幹司、小谷泰子、高山昌顕、**兵庫県**・足立了平、岸本裕充、米田優、砂治國隆、足立裕康、**岡山県**・小林直樹、**広島県**・今田忍、**島根県**・吉川浩郎、内藤晋一、**香川県**・坂東達矢、木村年秀、**高知県**・立本行宏、**山口県**・上村俊介、**大分県**・森崎重規、黒川英雄、**福岡県**・原ケイ子、久保哲郎、廣瀬知二、尾崎由衛、**長崎県**・角町正勝、山部一実、**佐賀県**・大浦一典、**鹿児島県**・楠一文、太田博見、新屋俊明、千堂洋一、四元貢、中村康典、山下皓三、**沖縄県**・村田千年、比嘉良喬

### 代表世話人（3名）

原龍馬（原歯科医院）、永長周一郎（東京都リハビリテーション病院）、  
足立了平（神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科）